

こんにちは。
町長です。



今後10年間のまちづくりの基本的方向性や 目標を示す町の基本構想を取りまとめました

平成31年度がスタートいたしました。平成の時代が終わり新しい時代が本年5月から始まります。到来する時代が国民にとっても小鹿野町民にとっても平和で輝かしいものになってもらいたいと思っております。

そのような時代の節目の中で、町が目指すまちづくりの基本的方向や目標を示し、これからのまちの将来像や重点目標と基本戦略、取り組むべき施策の大綱を示す基本構想を取りまとめました。この構想の期間は2019年度から2028年度の10年間となります。この構想を具体化するための施策の方向性を定めた基本計画も策定いたしました。この基本計画の期間は2019年度から2023年度までの5年間となります。

この基本構想は、副題に「持続可能で幸せなまちづくりに向けた十年を築くために」として、まちの将来像を「文化の香り高く将来に躍動するまち」としました。具体的には、

- (1) 人口9,000人を超えるまち (2028年度)
- (2) 地域経済の活発なまち
- (3) 町民一人ひとりが活躍するまち
- (4) 住むことに誇りを持てるまち

この将来像の実現に向けた重点目標を次の3つとします。

- ①働く場の創出
- ②安心して産み育てられるまちづくり
- ③いつまでも元気で、自分らしく暮らせるまちづくり

この3つの重点目標を実現するための基本戦略として、町民の皆様とともに地域の課題に取り組む「自治力」と、まちの魅力を創造・発掘し、町内外に発信していく「ブランド力」の2つの力でもって推進します。

施策の大綱として、次の5つの基本目標を掲げます。

- 基本目標1** 人口減少にまけない小さくても輝き続けるまち
- 基本目標2** 本町の自然や特性を活かした地域経済の創生
- 基本目標3** かがやく未来へおがの人づくり
- 基本目標4** すべての世代に配慮された社会保障の充実
- 基本目標5** 快適で安心して暮らせる環境の整備

この基本構想に沿ったまちづくりを進めるに当たっては、町としては今後更に厳しい財政状況が予測される中、経費削減に努め投資的な経費を捻出して、町民の皆様と力を合わせ力強く進むことが必要だと存じます。

小鹿野町長 森 真太郎